

評価項目		手段・ゴールイメージ（観点）	評価	特記事項（コメント）
確かな学力 ※わくわくいっぱい	①学力向上の推進	○望ましい授業態度で、基礎的・基本的な内容の定着	3	授業の中で「聞く・考える」がきちんとできており、対話を通して基礎・基本の定着につながっている。
		○授業を参観し合ったり、研修を行ったりして、授業の工夫改善	3	授業参観週間を年2回計画し、お互いの授業を参観し合うことで、授業改善につなげることができた。
		○タブレットPCの効果的な活用やプログラミング教育の実践	3	タブレットPCを意見共有のツールや習熟度に応じたドリル学習で活用するなど授業の中で活用している。
		○キャリアパスポートを活用し、キャリア教育の実践	3	学習面や生活面、学校行事の中での学びや活動を振り返り、記録をファイルに保存し、成長の記録につなげることができた。
	②特別支援教育の推進	○個に応じた指導、個を生かす工夫	3	支援や配慮が必要な児童の共通理解を図り、授業だけでなく学校生活の様々な場面で個に応じた支援ができた。
豊かな心 ※やさしさいっぱい	③生徒指導の充実	○職員間の情報交換、悩みアンケート、教育相談の実施による児童理解	3	「悩みアンケート」や「教育相談」、「すこやか委員会」を実施し、児童の情報交換を行い、共通理解を図ることができた。
		○あいさつ、校門での礼、無言清掃、立腰等の実践	3	あいさつは少しずつ良くなっている。また、清掃は縦割り清掃で、高学年が手本となって無言清掃に取り組んだ。
		○重点化を図った生徒指導による、児童の自己指導能力の確立	3	規範意識や対人関係等、日常の指導だけでなく、道徳や学活等で自己指導能力の確立に努めることができた。
		○安全教室や避難訓練等による安全指導の充実	4	交通安全教室や避難訓練（火災・地震・不審者）を実施できた。アンケートから児童の交通安全に関する意識が高い。
たくましい体 ※げんきいっぱい	④体力の向上	○「体力向上プラン」に基づいた体育指導の実践	3	体育の授業での実践と運動の日常化を通して、体力の向上につなげることができた。
		○保健・給食指導週間や学校保健委員会と関連させた健康安全指導	3	保健・給食指導週間や学校保健委員会と関連させた健康安全指導を実施することができた。
	⑤基本的な生活習慣の確立	○「早寝・早起き」、望ましい食習慣の育成	3	長期休業（夏休み・冬休み）明けに生活リズムに関する調査を行った。「早寝・早起き」は、高学年で低い傾向にあった。
		⑥病気の予防と治療	○むし歯予防の指導と治療の推奨	2
	○感染症対策のための手洗い、消毒などの実践		3	感染症対策のために、手洗いやうがい、手指消毒の呼びかけを行った。また、教室や廊下のこまめな換気を行い、感染症予防に努めた。
	連携 ※きずな	⑦保護者との連携	○家庭からの相談等への適切な対応	3
⑧地域との連携		○地域人材・素材の活用	4	地域資源を活かした教育活動を行い、保護者にもホームページ等を通して地域との連携等を発信した。
⑨関係機関との連携		○幼保小中。教育委員会等との連携	3	ひまわり保育園との有意義な交流活動ができた。また、教育関係機関とも授業や行事等で連携を図ることができた。

令和7年度 三股町立梶山小学校 自己評価（評価は4段階： 4→期待以上、3→ほぼ期待通り、2→やや期待を下回る、1→改善を要する）